

DVD版

TANABU Model

高

～レッスンごとに教科書の
扱いを変える高校英語授業～

教科書のレッスンの扱いに変化を持たせる！

アウトプット活動を通じて英語の定着を図る！

汎用性が高く、誰でもできる授業モデル！

TANABU Model とは

教科書に基づいて授業を行い、アウトプット活動を通じて英語の基礎を定着させるために、レッスンの扱いに変化を持たせた「持続可能な」「コミュニケーション英語の授業モデル」です。その究極の目的は、高校を卒業して何年英語から離れていても、いざ英語が必要になったときに拠り所とする英語の感覚を残すことにあります。

TANABU Model の特徴

教科書のレッスンの扱いに軽重を持たせることによってアウトプット活動の時間を捻出し、アウトプット活動を通じて英語の基礎を定着させることにあります。授業は英語で行いアウトプット活動を通じて英語の基礎を定着させていくこと。授業はアクティブで生徒中心、教科書に基づいた授業であること。汎用性が高く、誰でもできる授業モデルとなっています。TANABU Model では、アウトプットの時間を捻出するために4つコースを作り運用しています。簡単に終わらせるレッスンを作ることでアウトプット活動を充実させることができるようになりました。

TANABU Model 基本形メニュー

パターン

A

【超こってり】

15 時間“パフォーマンス”

パターン

B

【こってり】

12 時間“リプロダクション”

パターン

C

【あっさり】

4 時間“リスニング”

パターン

D

【超あっさり】

2 時間“読解力”

この DVD では、「TANABU Model」の概要と取り組みについて解説し、授業の進め方については模擬授業を通して詳しく紹介しています。また、田名部高等学校で実施された実際の授業映像も収録していますのでより実感しやすい内容となっています。ぜひご覧いただき、先生方の日頃の指導の参考にしていいただければ幸いです。

E132-S

全 3 巻 15,000 円

分売不可 / 税別・送料別

監修 金谷 憲 (東京学芸大学 名誉教授)

解説 堤 孝 (青森県立田名部高等学校 教諭)

授業 堤 孝/相馬 唯成 (青森県立田名部高等学校 教諭)

協力：伴 一聡(青森県教育委員会 学校教育課 指導主事)、今井 啓之(青森県立田名部高等学校 校長)、堤 孝、笠井 道生、武川 真樹、音喜多 真佐江、伊藤 桃子、中田 洋平、相馬 唯成、菊池 希(青森県立田名部高等学校 臨時講師)、Miranda R. Reed(青森県立田名部高等学校 ALT)、高橋 理恵(現：青森県立大間高等学校 教諭)、田中 新(現：青森県立大湊高等学校川内校舎 教諭)
使用教材：CROWN English Communication I Lesson 5 Section 1 (P60-61) 三省堂

「TANABU Model」
指導案・
ワークシート付き！

11ページ



JLC ジャパンライム株式会社 TEL 03-5840-9980 FAX 03-3818-6656 <http://www.japanlaim.co.jp> 2017.11

E132-1
49分

TANABU Model の Part 1 概要と授業の進め方

「TANABU Model」の概要について解説し、基本のコースである **パターンB【こってり】** 12 時間“リプロダクション”での 1 時間目の授業の進め方について模擬授業と実際の授業映像を用いて分かりやすく紹介しています。



TANABU Model の概要

- ・田名部高校の紹介
- ・田名部高校授業改善の取組
- ・TANABU Model とは
- ・TANABU Model 基本形メニュー

パターンB【こってり】12 時間“リプロダクション” ～授業の進め方(1 時間目)～

※3 時間の授業で 1 セクションを終了し、1 レッソンは、この 3 時間 × 4 セクション = 12 時間で終了する

- ◎1 PARAGRAPH CHART：英語が苦手な生徒でも取り組めるトップダウンの理解
 - ・個人単位で、教科書を見ながら空欄を埋める
 - お互いの用紙を見せずに口頭で、ペアで答えを確認→クラス全体で答えを確認

◇実際の授業例

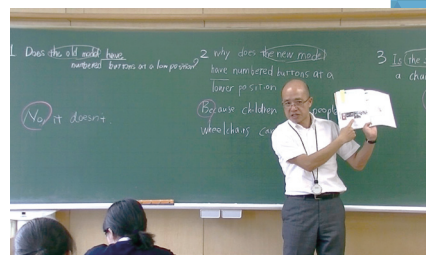
- ◎2 SUMMARY：辞書なしでわかる単語を基に推測しながら仮説を立てて読む力の向上
 - ・サマリーは 100 字以内の日本語でまとめる
 - ・4 人グループでサマリーを述べ合う→全体でシェア
 - ・サマリーのシェアが終わって初めて辞書が使える。調べられる単語は 10 表現以内

◇実際の授業例

- ◎3 COMPREHENSION：本文の内容理解

- ・個人単位で解答し、ペアで“口頭で”答えを確認する
- ・指名されたペアが問題と答えを板書する
- 別の指名されたペアが板書された答えを添削する
- ・クラス全体で答えを確認する（間違いがあれば、正解は“生徒から”引き出す）

◇実際の授業例



E132-2
85分

TANABU Model の Part 2 授業の進め方

基本のコースである **パターンB【こってり】** 12 時間“リプロダクション”での 2・3 時間目の授業の進め方と、**パターンA【超こってり】** 15 時間“パフォーマンス”でのパフォーマンステスト(実際の授業例)について紹介しています。



パターンB【こってり】12 時間“リプロダクション” ～授業の進め方(2 時間目)～

- ◎4 VOCABULARY SCANNING：チャンクで前から英語を処理する力の向上
 - ・与えられた日本語と語数を見て、英語の表現を抜き出す
 - ・生徒同士で“口頭で音声で”答えを確認する（日→英）
 - ・ボキャブラリー定着活動
 - ペアで日本語と英語で答え合わせへ・英語から日本語へ
 - 答える生徒が用紙なしで英語から日本語へ・日本語から英語へ
- ◇実際の授業例
- ◎5 READING PRACTICE：英語の構造や文法、音声とその意味を結びつけインテイクを図る
 - ・右側に日本語、左側に英語が書かれたシートでペア中心に“多種多様な”音読練習
 - コーラスリーディング、リピーティング、英語→日本語リピーティング、バックトゥバック、
 - 最速読み競争、サイトトランスレーション、シャドーイング、同時通訳、
 - ALT によるクレイジーリーディング
- ◇実際の授業例

パターンB【こってり】12 時間“リプロダクション” ～授業の進め方(3 時間目)～

- ◎6 DICTATION：事前に教科書を読み込ませ、英語の構造・文法、語彙の定着を図る
 - ・CD を 2 回流し、Dictation sheet の空欄を埋めて行く→ペアで交換し採点する
- ◇実際の授業例
- ◎7 STORY REPRODUCTION：アウトプットを通じた英語の定着
 - ・与えられた 10 個のキーワードを使い本文の内容を再生する
 - 口頭で内容を再生する（個人で 1 回）→口頭で内容を再生する（ペアで 3 回）
 - 英文を書いて内容を再生する（個人で 10 分）→教科書を見て各自で添削
 - 教師に添削して欲しい部分に下線
- ◇実際の授業例

パターンA【超こってり】15 時間“パフォーマンス”

- ◎パフォーマンステスト：実際の授業例
 - ・ロールプレイ（1 年）
 - ・ディベート（2 年）
 - ・ディスカッション（3 年）

E132-3
49分

TANABU Model について考える ～関係者へのインタビューから～

立ち上げから現在に至るまで、TANABU Model に携わってこられた先生方の感想や意見をインタビュー形式にて紹介しています。立ち上げから、途中から、初任で、途中で他校に異動されたなど、いろいろな関わり方を持たれている先生方のお話しを通して「TANABU Model」について考えていきます。教育行政機関、学校経営の立場からのご意見も紹介していますので、この授業モデルについてより幅広く、より詳しく知ることができます。



主なインタビュー内容

- ・田名部高校の取り組みに対する評価
- ・田名部高校の取り組みを県内外にひろげるために
- ・今後の取り組みについて
- ・田名部高校創立 100 年からの一歩としての外国語科の取り組みについて
- ・田名部モデルの立ち上げ～実施して感じたこと

- ・生徒が変わったと思うところは
- ・卒業生（OB）としての思い
- ・田名部モデルへの関わり、実施して感じたこと
- ・異動された学校での取り組み
- ・時間を充分かけることで実現できたこと
- ・実施する上で留意していること
- ・「こってりコース」「あっさりコース」を
実施してみても

ご協力頂いた先生方
インタビューに

- ・伴一聡（青森県教育委員会 学校教育課 指導主事）
- ・今井啓之（青森県立田名部高等学校 校長）
- ・堤孝（青森県立田名部高等学校 教諭）
- ・武川真樹（青森県立田名部高等学校 教諭）
- ・田中新（現：青森県立大湊高等学校 川内校舎 教諭）
- ・高橋理恵（現：青森県立大湊高等学校 教諭）
- ・菊池希（青森県立田名部高等学校 臨時講師）
- ・音喜多真佐江（青森県立田名部高等学校 教諭）
- ・中田洋平（青森県立田名部高等学校 教諭）
- ・相馬唯成（青森県立田名部高等学校 教諭）
- ・伊藤桃子（青森県立田名部高等学校 教諭）